

シナノキハムグリハバチ

春にシナノキやオオバボダイジュの葉の内部に潜るウジムシ。最大長約5mm。

3年間隔で多発するといわれ、1994、1997、2000年と多発が観察されている。食害により木が衰弱したり枯れた例は知られていない。花付きにもあまり影響ないと聞いているが、詳しい調査は行われていない。



1. 幼虫，体長5mm（上）。

2. 食害（右）。

1994/6/6. 美唄市，シナノキ。

【学名】 *Parna kamijoi*

【分類】 ハチ目（Hymenoptera），ハバチ科（Tenthredinidae）

北海道立林業試験場・緑化樹センター

シナノキハムグリハバチ habachi/sinahamu/
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂，北海道立林業試験場，2001/10/17.

1yochu.JPG, 1higai.JPG

「写真1-2」 原秀穂，北海道立林業試験場，1994.